

せと 市議会だより

令和6年9月定例会

111号

令和6年11月号



特集

P.2-4

令和5年度決算審査

財政の状況や税金の使われ方について審査しました

P.11
藤川泰行 選手

株式会社ジール勤務 名古屋ビクトリー所属
瀬戸市在住
第5回世界障害者野球大会に日本代表として
出場し、優勝した藤川泰行選手を取材しました。



決算の総括、財政の健全性などについて



Q 令和5年度決算にて、各款項において不用額が約18億1,000万円計上されているが、不用額になった原因は把握されているのか。

A 歳出予算を編成する際には、過去の決算状況や事業費の見積りなどから積算しているが、歳出額の伸びが見込みを下回る場合や、入札差金などにより、毎年度、ある程度の不用額が発生している。

コミュニティFMの状況について

事業内容 防災に関するコミュニティFMの有効活用により、広く市民に対して情報伝達手段の拡充を実施した。

議会の視点 >>> コミュニティFMが市民に有効活用されているか。

現在の消防庁舎の維持管理について

事業内容 現消防庁舎は建設後52年が経過し、建物の劣化が酷く、毎年度修繕工事を行った。

議会の視点 >>> 消防新庁舎の用地取得済であるがこのままでいいのか。

Q 消防庁舎施設管理の修繕費約294万円については、老朽化が進み修繕が行われていると聞くが、建物の傷み具合等どんな状況なのか。

A 現庁舎の老朽化については、大変古い建物であり、散発的に雨漏りや揚水ポンプの修理が起きている。また、機能的には古くなっているため、現代に合わせた機能強化が必要である。



Q コミュニティFMの中継局整備について、全体の何パーセントくらいがカバーされているのか。

A 令和4年度に、難聴地域であった品野水野地域の改善を行い、全体がカバーされている。

家庭系ごみ量の減量状況について

事業内容 ごみ減量化及び資源化の促進に向けて、令和4年10月からプラスチック製容器包装の分別回収が始まり、ごみ抑制と資源化に取り組んだ。

議会の視点 >>> 家庭系ごみの1人1日あたりの排出量目標が達成された要因はどこにあるか。

Q 家庭系ごみ実績値が476gと、目標の483gを達成しているが、どのような要因があり評価をしているのか。

A プラスチック製容器包装の分別回収が大きな要因となっている。また、ごみ有料化に取り組むことにより、市民の意識が高くなつたことで分別が行われ、資源化が進んだと思われる。

について審査しました

審査のようすは、議会録画映像などでご覧になれます



コミュニティ・スクール 推進状況は？

事業内容 地域連携担当教職員や地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)が連携の窓口となり、学校と地域の双方向の連携・協働を行った。

議会の視点 ➥ ➥ ➥ コミュニティ・スクールのキーマンである地域コーディネーターの横連携はされているか。

Q コミュニティ・スクールは各中学校区で設置されつつあるが、地域コーディネーター同士の意見交換会などの機会は作っているか。

A 中学校ブロックで様々な活動が展開されており、情報共有等をする場として、地域コーディネーターと教員も交えた研修会を開催している。



厚生文教分科会

真に効果のある障害者施策の現在地

事業内容 危機管理、障害児、就労支援、外出支援、相談支援、権利擁護、緊急時、生活支援の8つの分野で施策を実施した。

議会の視点 ➥ ➥ ➥ 開始後3年が経過し、どう評価しているか。真に効果が得られているのか。

Q 8分野30事業で予算の執行率が95.2%と伺っているが、社会福祉課が担当する6分野11事業の執行率はいかがか。また3年前に新規で始めた事業の状況について伺う。

A 社会福祉課分では執行率69.1%であった。新規事業では、例えば医療的ケア児の支援体制構築は、協議の場を作り支援に繋げていることから継続していく。事業によっては廃止したものもあり、適宜見直しを行っていく。



民間保育所の保育士不足解消に向けた取り組み状況は？

事業内容 民間保育所に対し、当該施設に勤務する職員の処遇向上及び延長保育等の保育ニーズに対応する保育サービスを提供できる体制整備のために補助金を交付した。

議会の視点 ➥ ➥ ➥ 保育士確保に向けた施策は有効であったか。

Q 令和5年は待機児童・隠れ待機児童合わせて103人であった。保育士不足については共通認識だと考えるが、待機児童・隠れ待機児童解消にどのようにアプローチをされたのか。

A 民間保育園の保育士就職フェアの開催や、保育士確保の体制作りとして補助金も交付しているが、なかなか雇用につながらないのが現状。隠れ待機児童については、特定の保育園を希望されている方が多くを占めている。

厚生文教分科会

歴史民俗資料館施設管理について

事業内容 歴史民俗資料館について、必要最小限の修繕・環境整備を行い、適切な維持管理を継続した。

議会の視点 ➥ ➥ ➥ 文化財は適切に保存・活用することが必要であるが、保管場所のスペースと保管環境に大きな問題があり、どのように対策を検討していくのか。

Q 修繕後も別の個所から雨漏りが発生しており、文化財を適切に保存・管理できる環境とはいいがたいが、改善の見込みがあるか伺う。

A 公共施設等総合管理計画に従い、埋蔵文化財センターを含む文化財収蔵施設については、収蔵物の内容を精査し集約を検討する。



都市活力分科会

公共交通維持・活性化について

事業内容 令和元年6月に策定した瀬戸市地域公共交通網形成計画に基づき、市内基幹バス(しなの線・水野循環線・みずの坂線・赤津線)、コミュニティバス(下半田川線・曾野線・上半田川線・片草線・岩屋堂線・本地線・上之山線・こうはん線)、菱野団地住民バスの運行を行った。

議会の視点 市民にとって利便性の高い公共交通の維持と活性化を図っているのか。

Q 各路線ともコロナ禍の時よりも乗車人数が増加してきているが、費用対効果をあげるには更なる対策が必要と考える。今後の対策を伺う。

A 今年度からコミュニティバス品野3線や本地線のデマンド運行実証実験や、上之山線のダイヤ見直しによる増便など、利便性の向上を図って利用者が増えるよう取り組んでおり、他の路線についても利用者が増えるように取り組みを進める。

体育施設費について

事業内容 利用者の利便性を向上させるため、市民がより快適・安全に利用できるようスポーツ施設を整備した。

議会の視点 市民の健康増進とスポーツ振興に寄与できる施設環境が整えられているのか。

Q 昨年度整備した箇所以外にも、市民公園の陸上競技場は老朽化が進んでいる。改修時期はいつ頃を予定しているか伺う。

A 市内スポーツ施設は、老朽化が進んでおり、順次施設改修を進めている。陸上競技場についても、スタンドを含め老朽化が進んでいることを把握しており、改修時期は手法を含めて検討している。



行政視察報告



議会運営委員会は、7月30日～31日に岐阜県中津川市と富山県高岡市で「オンライン委員会」について視察研修を行いました。地震や風水害、疫病の蔓延といった不測の事態に、議会活動を滞らせることなく委員会などの会議を開催するために、タブレットなどを活用して委員が参加できるよう会議規則などを整備し、有事に備えるもの。両市はこの2要件にプラスして出産、育児、介護など今後求められる要件を入れており、先進事例として大変参考になりました。



都市活力委員会は、8月7日～8日に大阪府泉佐野市と和泉市で行いました。視察項目として、泉佐野市は「地域産業におけるブランディングやPR等について」、和泉市は「ガラス等の地場産業支援等について」。泉佐野市の泉州オープンファクトリーは企業間の繋がりを作るだけでなく、学生連携、雇用創出、インナーブランディングといった自社教育にも繋がっていました。和泉市はガラスの加工技術を使い、人工真珠を作ることも昔から行われていました。近年では、安価でも本物と区別の付きづらい人工真珠の商品が、ハンドメイドアクセサリーなどに使用され、全国各地で販売されています。PR・情報発信など、大変参考になりました。



// 9月定例会の主な議案概要と審査内容 //

連合審査会

第55号議案

瀬戸市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について

概要 これまで教育委員会の職務権限であった地方教育行政の一部を地方公共団体の長(市長)が管理し、執行できるようにするもの。

Q 業務は10年以上前から補助執行という形で行われてきたが、条例制定を行う理由は。

A 条例制定により地域振興、まちづくりなどの関連行政と併せ、教育委員会の所管する事務の一部を市長が管理執行することで、施設や文化、スポーツの持つ効用をより活かすことが期待できるためである。



厚生文教委員会

第63号議案

瀬戸市こども若者家庭センター条例の制定について

概要 母子保健及び児童福祉の両機能を一体化した相談支援センターを設置し、乳幼児から若者まで切れ目なく支援する体制をつくるもの。

Q こども若者家庭センターは、現在の組織体制では健康課とこども未来課の2課にまたがる体制となるが、統括支援員を含めどのような組織作りをするのか伺う。

A 当センターは健康福祉部に所属する公所となり、センター長と、母子保健と児童福祉の両方の経験を備えた者を統括支援員として配置し、切れ目のない支援のために体制を整える。



総務生活委員会

第56号議案

市有財産(土地)の売払いについて

概要 旧祖母懐小学校跡地を住宅用地として売却するもの。

Q 2年前に旧祖母懐小学校校舎を取り壊し、住宅地として利活用しようと計画した折に、保育園やにじの丘学園が近くにあることから、子どもたちが学べる施設を念頭において進めていくことになったが、活用が未定な北側部分の計画について今後をどのように考えているのか。

A 子育て世帯に住みやすい環境づくりを目指し、公園と住宅地を計画した。公園は地域の方々も利用できる公園を設置していく。活用が未定となっている北側部分については、地域の子育て支援につながるような活用を検討していく。

予算決算委員会 都市活力分科会

第71号議案

令和6年度瀬戸市一般会計補正予算(第5号) 公園事業費について

概要 緑地法面崩壊個所の修繕と合わせて獣害対策工事を行うもの。

Q 土地区画整理内公園整備工事請負で修繕及び獣害対策工事として計上されている工事内容を伺う。

A イノシシによる法面崩壊箇所の復旧と合わせて進入防止策としてフェンス設置を行う。

意見交換

イノシシ被害への対策について

イノシシが増えていることで法面が崩されているところを市内で散見する。そのような被害が今後も増えていくと予想される。獣害は農業に限らないところを考えれば、対策や補助の範囲を広げる必要性が考えられる。

9月定例会議案等審議結果

■市長提出議案

議案番号	件 名	議決結果
第55号議案	瀬戸市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について	可決(賛成多数)
第56号議案	市有財産(土地)の売払いについて	可決(全会一致)
第57号議案	瀬戸市事務分掌条例の一部改正について	可決(全会一致)
第58号議案	行政組織改編に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決(全会一致)
第59号議案	瀬戸市公告式条例の一部改正について	可決(全会一致)
第60号議案	瀬戸市職員の退職年金等に関する条例の臨時特例の一部を改正する条例及び瀬戸市職員の退職年金等に関する条例の臨時特例等の一部を改正する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第61号議案	瀬戸市クリーンセンター条例の一部改正について	可決(全会一致)
第62号議案	瀬戸市子ども・若者センター条例の廃止について	可決(全会一致)
第63号議案	瀬戸市こども若者家庭センター条例の制定について	可決(全会一致)
第64号議案	瀬戸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(全会一致)
第65号議案	瀬戸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(全会一致)
第66号議案	愛知県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	可決(賛成多数)
第67号議案	交通事故に係る和解について	可決(全会一致)
第68号議案	瀬戸市スポーツ施設条例の一部改正について	可決(全会一致)
第69号議案	名古屋都市計画八床工業用地地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第70号議案	市道路線の認定について	可決(全会一致)
第71号議案	令和6年度瀬戸市一般会計補正予算(第5号)	可決(全会一致)
第72号議案	令和6年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第73号議案	令和6年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第74号議案	令和6年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第75号議案	令和6年度瀬戸市水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第76号議案	瀬戸市国民健康保険条例の一部改正について	可決(賛成多数)
認定第1号	令和5年度瀬戸市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第2号	令和5年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第3号	令和5年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第4号	令和5年度瀬戸市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第5号	令和5年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第6号	令和5年度瀬戸市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定(全会一致)
認定第7号	令和5年度瀬戸市下水道事業会計決算の認定について	認定(全会一致)
同意第3号	瀬戸市教育委員会委員の任命について(鈴木 紹陶武 氏)	同意(全会一致)
同意第4号	瀬戸市教育委員会委員の任命について(加藤 千恵 氏)	同意(全会一致)

■請願

議案番号	件 名	議決結果
請願第1号	瀬戸市体育館へのエアコン設置を求める請願	採択(全会一致)

■議員提出議案

議案番号	件 名	議決結果
第4号議案	議会活性化推進特別委員会の設置について	可決(全会一致)
第5号議案	厚生年金への地方議會議員の加入を求める意見書	可決(全会一致)

各議員の議案に対する賛否の状況

議員名	自民新政クラブ												公明党瀬戸市議団		日本共産党瀬戸市議団		市民の声		新風せと無所属の会		無会派	無会派				
議案番号	黒柳知世	颶田季央	山内精一郎	朝井賢次	高島淳	西本潤	小澤勝	宮園伸仁	富田宗一	柴田利勝	三木雪実	三宅聰	池田信子	長江秀幸	原誠	新井亞由美	浅井寿美	中川昌也	戸田由久	臼井淳	松原大介	馬嶋みゆき	長江公夫	石神栄治	高桑茂樹	伊藤賢二
第55号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第66号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
第76号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

【○】は賛成(採択) 【×】は反対(不採択) 議員名は左より会派ごとの議席順に記載。なお、小澤勝議員は議長職のため採決には加わりません。

分野別意見交換会を開催しました



総務生活委員会

ごみ減量推進会議との
意見交換会

テーマ▶一般廃棄物処理基本計画に掲げる
ごみの総排出量33,625トン/年(R15目標)を
達成するために何が必要か。

■見えてきた現状と課題

- ・フードロスを減らしていくためにはどう
な周知方法が良いか
- ・事業系ごみを減らす
- ・市民の意識改革と認識が不足している

■提案された解決策

- ・コンポストに気軽に取り組めるシステム
- ・事業系ごみ減量は事業者に市から要望を強
くする
- ・市民に説明会を何度も何度も開催する

■委員会としてのまとめ

様々なアイデアとご意見をいただいたので、
委員会でとりまとめ、提言・報告をしていきたい。

8/8
(木)





日程:令和6年11月9日(土)・10日(日)
時間:午後2時~4時 場所:市役所

テーマ① 地域防災について

テーマ② 瀬戸らしい子育て・学びについて

テーマ③ 中心市街地の活性化

テーマ④ あなたが思う課題・問題点

※両日とも同じテーマで行います。

広聴部会ニュース

「せとまちトーク」
～市民と議会の意見交換会～

を開催します!!



市民の方
どなたでも参加
いただけます!!

テーマごとに分かれて、グループワークを行います。
あなたが考える課題の原因とその解決策やアイデア
などをお聞かせください。

皆さんからいただいたご意見を、担当委員会等で
検討し、より住みやすいと実感できる瀬戸市につな
げていきます。

皆さんのご参加をお待ちしております。

初の
週末開催

いいもんせとまん議会を開催しました!

9月に開催される
「せともの祭」と「來
る福招き猫まつり
in 瀬戸」をPRする
ため、出席した全員
がはっぴを着て本
議会を行いました。

7

一般質問

市の行政課題などについて15人の議員が考え方や内容を質問しました。
質問を行った順に、一人ずつ紹介します。

Q 市議の質問
A 市の回答

カスタマーハラスメント対応について



馬嶋
みゆき
新風せと
無所属の会



Q

サービス利用者による迷惑行為「カスタマーハラスメント」は全国的に増加。暴力行為や危険物等を持ち込む事例もある。来庁者は、お体の不自由な方やご高齢の方もいてすぐに避難できる方ばかりではない。周囲への危険が想定される場合、職員はもちろん来庁者の安全確保が必要と考えるが対応について伺う。

A

他の来庁者の安全確保を最優先とし、行為者と距離を取る・警察への通報・職員の避難が必要となる。非常時の対応に備え、さすまた等を置き、日頃から職員同士で声をかけ合い、緊急時の役割分担を決める等、組織的な対応を取る。(人事課)

災害対応力強化のための受援体制の構築について



三宅
瀬戸市議
公明党
院



Q

大規模災害時に他の自治体や関係機関からの支援を円滑に受け入れるため受援計画というものがある。具体的には、応援職員や支援物資の受け入れ、被災者支援などの業務を効率的に行うための計画である。発災後、各方面からの支援の申し出に応じるために、この受援計画の構築を進めることができると考えるが市の見解を伺う。

A

現時点では、本市は受援計画を策定していないが、大規模災害時に国・県始め各方面からの支援を円滑に受けられる受援計画は重要となるので検討を進めたいと考えている。
(危機管理課)

学校のプールについて



朝井
新政クラブ
賢次
自民



Q

この5年間で、水泳の授業を民間委託していく自治体は確実に増え、近隣市も昨年今年の2年間で3分の2の小学校が民間委託となった。委託先であるスイミングスクールは数に限りがあり、受け入れを断られ実施できない場合が発生する。全市一斉ではなく、まずは試験的に民間委託に向けて動き始める必要があると考えるが見解を伺う。

A

専門的指導の観点から泳力向上や学校プールの老朽化等への対応において、民間委託は有効な手段と考える。今後は学校規模や移動手段、コスト等を踏まえ、実施可能な学校での試験的な活用を検討していく。(学校教育課)

猛暑環境から市民をどう守る?体育館へのエアコン設置について



黒田
新政クラブ
季央
自民



Q

体育館は、多くの市民が体育・スポーツ・地域活動・防災拠点など様々な目的で使用する施設である。近年の猛暑環境下では熱中症の危険性が高く、活動に大きな支障をきたしている。安全対策として早期にエアコンの設置が必要と考えるが見解を伺う。

A

エアコンを設置する場所の優先順位については、緊急性や安全性、地域における施設の位置づけなどを考慮し、小中学校の体育館が優先されるものと考えている。
(政策推進課)



「待機児童問題」を解消する方策を、保育園設立の視点から伺う



山内
新政
精一郎
自民
クラブ



Q

新規保育園の設立や既存保育園の拡張は、利用定員を増やす方策と考えられている。祖母懐小学校跡地活用において、同所の一部が将来活用検討ゾーンと位置付けられているが、同所に民間保育園の移転も含めた、有利な活用について見解を伺う。

A

保育園の新設や拡張は、将来的な保育需要や必要とされるサービス量の動向を見込むことが必要となり、他の計画との整合を図りつつ瀬戸市保育所整備・運営計画の中で検討していくことになる。民間保育園が移転する場合は、あくまでも民間保育園の判断によるものと考える。 (保育課)



浅井
瀬戸
日本
市議
寿美
共産
党



Q

本市の交通空白地域は市街化区域では東長根町の一部、下陣屋町の周辺(進陶町、東松山町など)となっているが、これらの地域には急坂の多い地域が含まれている。直線距離は短くとも、高低差による移動の困難が日々の暮らしを圧迫している。長根、水南、道泉の地域にはコミュニティバスの路線はなく、こういうところこそデマンド交通などの実証実験を行う必要があると考えるがどうか。

A

これらの地域で実証実験の予定はないが、現在運行している既存交通などの検証を行い、今後も交通空白地域の解消に努めていく。(都市計画課)

暮らしを支え、外出を支援する交通政策を



黒柳
新政
知世
自民
クラブ



Q

深川小学校跡地は子育て支援施設をはじめとした周辺施設を集約する予定となっている。本市の魅力UPのため、集約後は内容の充実、利便性の向上は必須だが、計画はこのような課題を満たしているか。また、図書館近くの歴史民俗資料館は、平成17年から閉館している。立地を活かし他の活用をしていくべきだと考えるが見解を伺う。

A

深川小学校跡地は、各施設の事業見直しや動線の工夫により利便性を確保していく。歴史民俗資料館は、収蔵物の内容を精査し、集約を検討する。進捗状況に合わせて他の活用を検討する。 (政策推進課)

公共施設の活用について～深川小学校跡地・歴史民俗資料館～



長江
瀬戸
公明
市議
秀幸
党



Q

音声教材が日本語に通じていない児童生徒にとっても有用であるため、これらの者が音声教材を使用して学習ができるように今回バリアフリー法が改正された。本市としても外国人児童に音声教材を活用して、学びの充実をさらに進めていくべきと考えるがいかがか。

A

日本語指導教室の設置校では、教科書の内容を要約したり、ルビをつけたりした教材を作成し活用している。今回のバリアフリー法の改正に基づく、日本語指導が必要な児童生徒への音声教科書等の活用も、学校に対し必要に応じて進めるよう周知しており、学びの機会を深める機会になるとを考えている。 (学校教育課)

今後の日本語指導の取り組みについて



長江
瀬戸
公明
市議
秀幸
党



Q

音声教材が日本語に通じていない児童生徒にとっても有用であるため、これらの者が音声教材を使用して学習ができるように今回バリアフリー法が改正された。本市としても外国人児童に音声教材を活用して、学びの充実をさらに進めていくべきと考えるがいかがか。

A

日本語指導教室の設置校では、教科書の内容を要約したり、ルビをつけたりした教材を作成し活用している。今回のバリアフリー法の改正に基づく、日本語指導が必要な児童生徒への音声教科書等の活用も、学校に対し必要に応じて進めるよう周知しており、学びの機会を深める機会になるとを考えている。 (学校教育課)

南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」について



高桑
茂樹
無所属



Q 2018年6月18日に発生した大阪北部地震で、登校時間に小学校のブロック塀が倒壊して小学校4年生の女児が亡くなった事故があった。登下校時間に対する小学校の通学路と中学校の通学路について、地域との協力による通学路点検は必要と考えるが市の見解を伺う。

A 通学路については、毎年、教育委員会、市の関係課とともに、学校、警察、保護者等地域が連携し、通学路点検を行い、交通安全や防犯の面だけでなく、災害時の危険も配慮して危険な箇所を選定し、改善している。通学時の見守りも、保護者や地域の方々の協力により行われている。（学校教育課）

中水野駅地区の樹齢約250年の名木「内田町の大イチョウ」を伐採してしまうのか。



白井
淳
市民の声



Q 「内田町の大イチョウ」の木は、他にかけがえのない地域の貴重な文化財であると言われているが市の見解を伺う。また、当該事業の保留地として造成工事を行うため、伐採しなければならないのであれば理由を伺う。

A 大イチョウは地域のシンボル的な樹木であると認識している。しかし、樹木医の診断によると、健康状態が悪く、樹勢にも異常が見られ、樹木医から意見をいただき検討したが、枝葉の飛散や倒木等により住民に危険が及ぶ危険性が高いことが分かり、また移植の検討も行ったが、移植に耐えられないという見解であったので、危険性や管理の面から伐採することにしている。（都市計画課）

要配慮者、女性・子どもが必要とする災害備蓄用品の拡充について



池田
信子
瀬戸市議
公明党



Q 今回の能登半島地震の避難所では、女性の活躍や女性避難者の声から支援物資の配置や女性の視点を考慮した災害備蓄用品の拡充は重要であると考える。特に、要配慮者、女性、子どもの利用者の立場にたって、備蓄計画の見直しも、今後、必要と考えるがどうか。

A 災害時要配慮者や女性、子どもなどの避難生活に必要な備蓄物資は、利用者の立場になって、さまざまな視点を取り入れ、きめ細やかな備蓄を進めていく必要がある。また、備蓄計画の見直しは、これまでの災害に対する課題も踏まえ、検証していく必要がある。（危機管理課）

障害児・者への日常生活用具給付事業（紙おむつ支給）について



新井
亞由美
瀬戸市議
日本共産党



Q 障害児・者へ月12,000円分の紙おむつ等の支給は、令和4年に改正があり対象者が広がっている。しかし要綱には「5歳未満で体幹機能障害の身体障害者手帳と療育手帳（A判定）を取得した者」とあり近隣市よりも対象者が狭くなっている。身体障害者手帳があってもA判定の療育手帳を持っていない常時おむつが必要な障害児・者は対象外となるのか伺う。

A 療育手帳（A判定）を所持していない方で、常時紙おむつを必要とする要因となった疾病が5歳未満で発症していた場合については、医師意見書等で状況を確認し、支給の可否について検討していく。（社会福祉課）



未来を担う子ども達が楽しめる環境整備について



中川
昌也
市民の声



Q

瀬戸市には大型遊具が備わった公園及び水遊びができる公園がないため、市民公園の芝生広場に、大型遊具を設置すると共に、休止状態の噴水を改修し、水遊びができ、子ども達や家族も楽しめる環境整備をすべきであると考え、市の見解を伺う。

A

公園整備については、遊具の老朽化による修繕を大きな問題と捉え取り組んできたが、今後のあり方を考えていく必要がある。これからの社会がこどもまんなか社会である事を踏まえ、瀬戸市の未来を担う子ども達の環境整備や子育て環境を整えていく事に力を尽くしていく。（こども未来課）

瀬戸市新水道ビジョンについて



原 瀬戸日本共産党
誠 市議会



Q

8月に行われた水道事業経営審議会では、令和8年度に水道料金を約43%値上げするシミュレーションが提示されていた。物価上昇で市民の生活が苦しい状況下で値上げを行るべきでないと考えるがどうか。

A

令和4年度決算は純利益から長期前受金戻入額を差し引いた金額が赤字となった。水道施設の老朽化や耐震対策等への対応が求められる状況で水道サービスを維持するために、水道料金の値上げについて水道事業経営戦略で示した料金改定の検討を行う状況となった。このことを踏まえ、水道料金の値上げの検討を開始した。（水道課）

職員が活き活きと働くことができる市役所を目指して真に打つべき対策を



松原
大介
新風せど
無所属の会



Q

メンタル疾患・退職者が多い根本原因是、職員数がそもそも少ないと加え、事業ごとの予算が減っても、事業数が増え続けることによる業務負担・責任の増加と、それに起因するモチベーションの低下だと考える。対策のひとつとして、予算インセンティブ制度を導入してはどうか。

A

現在、ネーミングライツの実施や企業版ふるさと納税の実施など、行政改革に繋がる取り組みを進めている。実施にあたっては、モチベーションアップのため、取り組みの効果の一部を担当課の事業費とする等、インセンティブについて検討していく。（政策推進課）

瀬戸市在住で、第5回世界障害者野球大会で見事優勝を果たした藤川泰行さんのお話しを伺いました。

藤川さんは、小学校から大学まで野球をしていましたが、20歳のときにバイク事故にあり、左ひざから下を切断しました。その後、障害者野球に出会い、この度の栄誉に輝きました。次の目標はなんと、やり投げでの夏のパラリンピック出場と、アイスホッケーでの冬のパラリンピック出場だそうです。常に挑戦を続ける藤川泰行さんに今後も注目です！



※今回は議会だより編集委員の松原議員が取材しました。

テレビ番組

グリーンシティケーブルテレビ

「こんにちは！瀬戸市議会です。」(地上デジタル121ch)

9月定例会の番組内容は「行政視察の報告」や「決算審査」についてお送りしました。



次回放送予定 令和7年1月27日(月)～2月2日(日)

放送時間 7:10～、9:10～、12:10～、14:10～
18:10～、22:10～

番組がご覧になります。



傍聴



傍聴をご希望の方は、北庁舎5階の議会事務局にお越しください。



ラジオ番組

RADIO SANQ 「せとまちラジオ」(FM84.5MHz)

放送の前半は定例会のお知らせ、後半では「私のマイブーム」について議員が語るコーナーもあります。どんな思いが語られるのかどうぞお楽しみに。



次回放送予定

11月26日(火)、12月24日(火)

放送時間 9:20～、12:30～、18:00～、24:00～

RADIO SANQホームページから
過去の放送分もお聴きいただけます。



インターネット中継



会議の様子をライブ配信(生中継)・録画配信しています。ホームページからアクセスしてください。

スマート
フォン・
タブレット
でも！



12月定例会開催予定

11月29日(金) 本会議(開会・議案上程・説明)

12月 4日(水) 本会議(一般質問)

5日(木) 本会議(一般質問・議案質疑・委員会付託)

6日(金) 本会議(一般質問・議案質疑・委員会付託)、予算決算委員会

10日(火) 総務生活委員会、
予算決算委員会総務生活分科会

11日(水) 厚生文教委員会、
予算決算委員会厚生文教分科会

12日(木) 都市活力委員会、
予算決算委員会都市活力分科会

17日(火) 予算決算委員会、議会運営委員会

19日(木) 議会運営委員会

20日(金) 本会議(委員長報告・討論・議案採決・閉会)

編集後記

今回、瀬戸市役所の組織改編など市全体にかかる2議案について、全議員で審査する連合審査を行いました。

また決算では、令和5年度の瀬戸市のお金の出入り、事業の成果などを、3つの常任委員会の所管ごとにチェックしました。主な質疑を掲載しましたのでご覧ください。



ご意見・ご感想はこちらから



問合せ先／議会事務局 議事課 ☎88-2740
E-mail▶giji@city.seto.lg.jp

編集・発行／瀬戸市議会 ☎489-8701 瀬戸市追分町64-1

瀬戸市議会ホームページ
SNS、YouTubeをcheck!



アプリでも議会だよりをcheck!



*いずれも、午前10時からの開催予定ですが、日程が変更される場合がありますのでご確認ください。

*会議の様子は、瀬戸市議会のホームページからインターネット中継でご覧いただくことができます。

*請願・陳情の提出締切は、11月18日(月)の午後5時です。